

6月11日(木曜日)「弱い者に心を配る人」

【新改訳 2017】

詩篇 41・1－3

「幸いなことよ。弱っている者に心を配る人は。主はわざわいの日にその人を助け出される。主は彼を見守り、彼を生きながらえさせ、地上でしあわせな者とされる。……」(1, 2節)

神は、弱っている者に心を配る、親切な人を祝福されると言われています。

私たちはふつう、自分がいかに強く豊かに生きようかと全力を注いでいます。しかし、世の中には自分の意思や能力と無関係に、弱さを強いられている人たちもたくさんいます。そして、そのことについて、「神が愛ならば、どうしてこうゆうことが起こるのか」と問われます。ここで心理学や医学の考え方を取り上げることはできませんが、1つの明確な答えがあります。それは、神はそのような人たちを変わりなく、全き愛で愛してくださるということです。そして、神は、そうゆう人に心を配る人を祝福されるということです。

どうか、弱い人たちに進んで心を配る信仰者でありますように。

～祈り～

主よ。きょうも、そのような弱い人に対して、1 人でも、1 つでも、心を配ることができるように導いてください。

【学びのために】

(参考区分) テーマ「あわれみを求める祈り」、1-3 節 あわれみ深い人の祝福、4-9 節 あわれみをもたぬ人、10-12 節 神のあわれみを求める祈り。